

資源回収にエコポイント



ポイントカードにスタンプを押します

東西町地域振興協議会（会長 中本俊夫さん）は12月から、ごみ減量化を目標に資源回収にポイントカードを使う「エコポイント」の取り組みを始めました。

取り組みは、軟質プラスチックとざつ紙を資源ごみで回収に出すと、ポイントカードにスタンプが押され、貯まったポイントを地域のイベントやお店で使える地域通貨として還元するというものです。同協議会副会長の原和正さんは「ごみの減量を呼びかけると共に、地域通貨を使うことで地域の交流も生まれるのでは」と期待されています。

冬来たりなば春遠からじ

12月15日、加工グループえぶろんが南部町特産の富有柿を使った「柿ソフトクリーム」の材料、柿ペーストの加工作業を行いました。加工は加工施設えぶろんで行われ、柿500kgの皮を手際よくむき、次々とペーストを作っていました。柿は生もののため、収穫した晩秋から冬までに加工を行わなくてははいけません。

このペーストを使った柿ソフトクリームは、今年の春からととり花回廊の特産センター野の花で販売されます。



寒い中で作業をする加工グループの皆さん

法勝寺歌舞伎が知事表彰受賞



賞状と記念品を手にする  
青砥会長（中央）と原環さん（右）

法勝寺歌舞伎保存会（会長 青砥正幸さん）が、平成20年度伝統芸能功労団体知事表彰を受賞しました。この表彰は、鳥取県内の伝統的な芸能保存団体の中で、後世へ継承するために活発に活動を続けている団体の功労を讃えておられます。

法勝寺歌舞伎保存会は、浄瑠璃を背景にした地方歌舞伎「法勝寺歌舞伎」の保存と伝承を行っています。年一回の「ふれあい芸能inさいはく」での舞台上演を始め、子ども歌舞伎の上演で後継者育成にも熱心に取り組んでおられます。

元気いっぱい成長を披露

ひまわり保育園で園児60人による生活発表会が12月13日に行われました。

園児たちは練習を重ねた歌や劇などを両親や祖父母の前で披露しました。会場に集まった100人以上の保護者は、子ども達の成長ぶりに笑顔をみせ、その姿をビデオカメラなどに収めていました。

園児の発表が終わると、立派な舞台を見せてくれたお礼に、保護者代表から歌のおかえしと、サンタクローズからプレゼントが渡され、子ども達は大喜びでした。



堂々とした演技を見せました